

## 《履修上の留意事項》【面接授業のみ】

《担当者名》 山田 律子（コーディネーター） 小林 正伸 西 基 濱田 淳一 明野 伸次 伊藤 加奈子  
遠藤 紀美恵 川崎 ゆかり 中安 隆志 船橋 久美子

## 【概要】

看護学の集大成の科目である。これまでの学習を振り返り、自己の学習成果の確認のために、看護学に関する基礎および専門分野を総合的に学習する。

## 【学習目標】

1. 3年半にわたって学んできた看護学の学習で理解が不十分であった点を点検し、それらを充足することができる。
2. 看護学に関する基礎および専門分野を広く学び、専門職である看護職として必要な総合力を身につけることができる。

## 【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	公衆衛生・疫学	人口学・予防接種・各種法規など	西
2	疾病の成り立ちと病態生理	人体の構造と機能	濱田
3	疾病の成り立ちと病態生理	人体の構造と機能	濱田
4	疾病の成り立ちと病態生理	人体の構造と機能	濱田
5	疾病の成り立ちと病態生理	脳神経疾患	小林
6	疾病の成り立ちと病態生理	消化器疾患	小林
7	疾病の成り立ちと病態生理	心・脈管疾患、血液疾患、免疫感染症	小林
8	疾病の成り立ちと病態生理	呼吸器疾患	小林
9	疾病の成り立ちと病態生理	内分泌・代謝疾患、泌尿器疾患	小林
10	基礎看護学	看護の基本となる概念、看護の展開、看護における基本技術	明野
11	成人看護学	検査・治療を受ける患者の看護	伊藤
12	母性看護学	母子保健統計と法律、周産期にある人々の看護	遠藤
13	小児看護学	子どもの成長・発達、予防接種、子どもの疾患と看護	川崎
14	老年看護学	老年期の特徴(統計的傾向を含む)と看護	船橋
15	精神看護学	精神の機能と構造、精神疾患の病態と看護の理解	中安

## 【評価方法】

授業参加状況 100%

## 【備考】

教科書：特になし。適宜、講義資料などを配付する。

参考書：レビューブック2021年版（メディックメディア）、クエスチョン・バンク2021年版（メディックメディア）

## 【学習の準備】

授業内容に該当する既修の講義内容に関して復習（80分）および参考書の該当部分を予習（80分）すること。

## 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3,2

## 【実務経験】

小林正伸(医師)、西基(社会医学系指導医、日本公衆衛生学会認定専門家、日本医師会認定産業医)、明野伸次(看護師)、伊藤加奈子(看護師)、川崎ゆかり(看護師)、遠藤紀美恵(看護師)、中安隆志(精神看護専門看護師)、船橋久美子(老人看護専門看護師)

**【実務経験を活かした教育内容】**

各専門分野の実務経験を活かして、看護学の基礎および専門分野の知識を系統的かつ統合的に身につけられるように教育する。